

のの愛新聞

2008年12月号
 発行所
 野々上事務所
 高槻市氷室町
 4-1-5
 072-695-1313
 発行人
 本田昌子

「変」なのが、「変」わるのか

毎年12月12日に発表される今年の漢字。日本漢字能力検定協会が全国から公募して、最も多かったものを、清水寺の貫主が大きな和紙に書き下ろします。そこで選ばれた今年の漢字は「変」。全国から約11万通の応募があったもののうち約6千通がこの「変」だったそうです。



毎年行われる、大阪府議の小沢福子さんの忘年会では、今年の漢字が何になるかを参加者全員で予想するのが恒例になっています。今年の漢字は何か、を紙に書いて

“オープンオフィス”へ

ご自由にお越しください！

日時：1月17日(土)11時～16時
 場所：ののえ愛事務所(氷室町)
 内容：12月議会報告、活動報告、市政相談など

先日終了した12月議会では、関西大学のグランド用地取得費用の28億円もの予算が可決されました。

投票します。そんな中私の選んだ漢字は実は「変」でした。変な国会、変な首相、変な政治・・・そんな思いで選んだ漢字が選ばれたことは少し複雑な感想です。

“黒人初”の大統領に選ばれたバラク・オバマ氏が、世界全体を巻き込んだ選挙キャンペーンを展開し、政治に変化への希望が見えたアメリカ。

一方、またまた突然首相が変わり、引き続き変な政治が続く日本。内閣の顔触れも2世3世議員か東大卒業の中央省庁官僚出身者がかりで変です。

高槻は変化したのか、変なのか。残念ながら高槻でも変な政治が横行しました。

先だつての9月議会で可決されている12億円の校舎建設費用の補助金とあわせて、実に40億円を超える支援です。100年に一度と言われる経済危機の状況にあってそんな事は全く考慮に入れず、粛々とこんなに大きな金額を決めてしまつのはやっぱり変です。

今年10年目になる奥本高槻市長の特徴は、ケチ、なことでした。これは決して悪い意味ではなくて、全国の自治体で財政難が叫ばれる中、ケチケチ運営で基金(自治体の貯金)を積み増す財政運営方針は、大学の財政の専門家の先生から高い評価を受けていました。ところが今年はその外れたように大盤振る舞いが始まつてしまつて変です。

大阪府も変でした。府民の絶大な支持で誕生した橋下知事。舌鋒鋭く、しかし言動はコロコロ変わる。この新しく誕生した知事の方針に、高槻市など大阪府内の市町村は振り回されればなしの一年でした。

ところで去年、2007年の今年の漢字は「偽」でした。翻つて「変」の今年。来年はよい方向に変わっていく、変えて行きたいものです。

野々上愛

今年を振り返って

南平台 大西 靖

今年も数えるほごになりましていろいろあった1年でした。今年も自分の悪い癖がでて自分に背負いきれない重圧をもちました様に思います。黙っていられない性格、すぐに自分の意見を述べる、自分と違う考え方には挑戦する。



ある中で9月のお月見コンサート10月のドングリ祭りはかなり重圧のかかるイベントである。こんなしんどい思いは「コロコロ」と思いつつも最近こんなことが起こりつつある。しょうくりもなくである。

解散総選挙が近づいている今日、私は自分の幸せのためにどうしても勝たなければならない選挙であるとの思いが強い。

とは言えどもそのしんどさは大変であると思う人も人一倍強いのも確かである。だから自分の能力の範囲の中でやればとも思いつつ、最近誘われてその関連の会議に出ることがある。するとまたぞろ自分の癖が顔を擡げて来るのである。もうこの辺で止めておこうこれ以上は危険であると言いつつも聞かせながらも、じわじわと危険地帯に踏み込んでいる自分に気付く。このあたりで踏み止まなければならないと思う昨今であります。(完)



大目長ウツケ
 氷室町・中2黒桜
